

<http://www.fcg-r.co.jp/>

## 01 labo

電動式 vs プッシュ式

### 潤って崩れないミストはどれ？

日中の肌への潤い補給やメイク直しの際に便利なミスト化粧水が広く使われるようになり、「モバイルビューティー(モバ美)」と呼ばれる携帯タイプの美容家電にも、各社の電動式ミスト化粧水が登場しています。当研究室ではこれら電動式とプッシュタイプそれぞれのミスト化粧水を評価しました。

特殊な紙にミスト化粧水を吹きかけてミストの広がりやムラ付きを判定したほか、クロスにメイク用品で女の子の顔を描き、これにミスト化粧水を吹きかけてメイクの崩れにくさを評価しました。保湿力は、超極細ミンクのボンボンを使い、ミスト化粧水で濡れてかたまっただ後の乾燥による毛の広がり方を比較しました。詳しくはホームページの商品研究レポートをご覧ください。

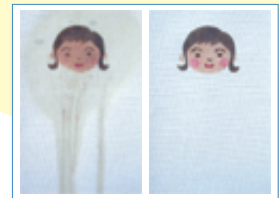
(美容科学研究室 ☎03-5495-1503)



バリエーションが増えるミスト化粧水



ミストは広範囲に広がるが液だれするものもあれば(左)、細かいミストで全く濡れないものも(右)



液だれが著しいものはメイク崩れが目立つ(左)

## 02 seminar

編集局幹部に聞く

### 都合の悪い取材を乗りきるコツ



実際の会見映像を見ながら解説を聞く参加者

産経新聞編集総務の鈴木裕一氏と広報コンサルタントの青柳栄一氏を講師に迎え、取材者側から見た上手な広報対応や特殊メディアの見分け方などについて話を聞きました。また、過去にあった6件の不祥事会見の映像をもとに、参加者にそれぞれの問題点を考えてもらいました。鈴木氏が映像中の悪い対応について指摘すると、会場からは「なるほど」という声が上がっていました。

さらに事務局からは不祥事取材・会見の実戦的なノウハウを凝縮した限定版小冊子を配布。講演後の名刺交換の場でも講師陣への質問が相次いでいました。(情報調査部 ☎03-5495-1501)

昨年12月8日、東京・内幸町の日本記者クラブで、企業・団体の広報担当者を対象に日常の取材対応から不祥事会見の乗り切り方までを解説するセミナーを開催しました。

## 03 product

新サービスで機能拡充

### 「そうけんくんエントリー」をリリース

昨年12月、食品リスク管理システム「食品大目付そうけんくん」の新サービス「そうけんくんエントリー」をリリースしました。

「そうけんくんエントリー」は、そうけんくんフォームへのデータ入力と、そうけんくんファイルへのデータの書き出しに機能を限定した無償の入力フォームです。入力に必要な原材料・添加物の情報は随時更新されます。

この新サービスを利用することで、そうけんくんユーザー以外でもそうけんくんフォームへの商品原材料情報のデータ入力が可能になります。また、書き出したデータをそうけんくんユーザーがそうけんくんに取り込めば、法判断や一括表示の作成が可能です。

(食品料理研究室/メディア開発室 ☎03-5495-1504)



FCGは Fujisankei Communications Groupの略称です。

## 04 labo

発熱注意！

### USB家電は正しく使おう

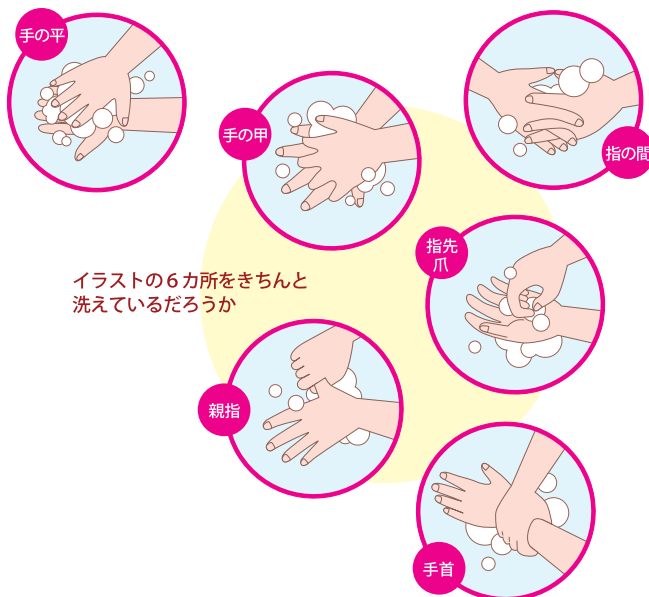
パソコンにキーボードやマウス、デジカメ、プリンタなどを接続するにはUSBを用いるのが一般的です。最近はこのUSBの電源供給機能を利用した、パソコンとは無縁の雑貨が増えてきました。昨年の夏には小型USB扇風機がはやりましたが、現在は冬バージョンとして加湿器やカイロ、足温器、枕といった暖房器具が販売されています。

しかし、消費電力が大きい暖房器具は、パソコン側の発熱量を増やし寿命を縮める恐れがあります。またUSBは1口で最大電流が500ミリアンペアと決められているため、同時に複数の機器をつなぐと、動作しなくなったり、パソコン自体が誤動作する可能性があります。

とくに電源の弱いノートパソコンに暖房器具をつなげるのは避けたほうがいいでしょう。どうしても使いたい場合は、USB機器が接続できる市販の電源供給専用ACアダプタを利用するのが懸命です。(商品研究室 ☎03-5495-1507)



USB家電は便利だが、使い方を誤るとパソコン本体が不具合を起こす恐れもある



イラストの6カ所をきちんと洗っているだろうか

## 05 labo

日常の風邪予防

### マスクよりも手洗い優先

咳、のどの痛み、鼻づまり、発熱、倦怠感、頭痛など、風邪の症状は人によってさまざまです。冬場にはやる風邪ですが、いわゆる「風邪菌」というものは存在せず、病原体となるのはウイルス、細菌、マイコプラズマなど数百種類にも上る微生物。感染した病原体によって症状が異なります。一般的には「ライノウイルス」「アデノウイルス」などのウイルスの仲間感染するケースが大半です。ライノウイルスはくしゃみ、鼻水の症状を起こす最も代表的な風邪の病原体。一方、アデノウイルスは肺炎、結膜炎、嘔吐、下痢を引き起こし、夏にも流行します。

風邪対策としてよく知られているのがマスクの着用や手洗いです。ただし、実際に感染予防を実証するデータは乏しく、効果を疑問視する声もあり、欧米では着用の習慣はありません。風邪を引いた人がマスクをすることでくしゃみ・咳による病原体を含む飛沫の飛散を抑制する効果はありますが、空中を漂う飛沫をマスクで完全に防ぐことはできません。

また、衣服、顔、手、髪の毛などに付着した病原体は、マスクを外した後に口内に侵入することが考えられるため、その前に手洗いなどで病原体を除くことが重要です。帰宅したらまず手を洗い、その次にマスクを外して捨てましょう。できればすぐに入浴し、服を着替えることも有効な予防策といえます。

(環境科学研究室 ☎03-5495-1506)